

H29 妙高西条農園たより NO. 1

平成29年4月20日 (4月号)

今年の冬は標高の高い妙高のスキー場等では年末から、平年並みの降雪がありましたが、標高の低い地域では昨年につづいて正月明けまでほとんど積雪のない状況で、1月上旬からの降雪も少なく当農園付近では最高積雪も1m程で春を迎えました。しかし雪解け後も天候不順がつづき3月末になっても、雪の日や冷たい雨の日が多く圃場が例年のように乾かないため春の農作業が予定通り進まないで困っています。

それでもビニールハウス内のコシヒカリの苗は5月連休明けの田植えに向け順調に育っています。今年の稲作りでも美味しさを更に追求した米作りに取り組むため、昨年秋の収穫が終わってから圃場に鶏糞、米糠、籾殻燻炭、元気ゆうき君及びミネラル肥料などをすき込み、この春も耕耘前に有機肥料の元気ゆうき君「有機JAS規格適合肥料」、鶏糞、米糠、ケイ酸肥料、マインマグCをトラクターですき込みました。

春の耕耘前にトラクターで圃場にすき込む各種有機肥料とミネラル土壌改良材



富山県保証の従来コシヒカリ種籾を購入し、3/29から種籾消毒を行い、HB-101入り水に4/7まで浸水を行い、4/9苗箱に種籾播種を行い、芽だし機に入れ、4/13に発芽した苗箱をビニールハウスに移動しました。

昔から、苗作りの良い悪いで秋の収穫が半分決まるといわれていますので、良い苗作りに努力しているところです。苗箱の生育状況を確認しながらHB-101薄め液を2回にわたり5cmに延びた苗に散布しました。

HB-101入り水に浸水

種籾播種作業

苗作り用のビニールハウスの作成作業



今年も良い苗が育っています

HB-101を2回苗床に散布

PA用の春の畔アート



メグスリノキ苗木栽培を説明



4月11日に新潟県上越市出身で東京都内および近郊にお住まいの方々が組織された「ふるさと上越ネットワーク」の皆さん10数名が高田の観桜会に来られた際に、足を伸ばしていただき、当農園での「ゆうきミネラル米」栽培の作業実態を視察に見えられましたが、まだ雪解け間際で本格的な農作業が始まっていないため、メグスリノキの苗木や栽培方法についての説明を主に聞いていただきました。今年も農作業の終了する、11月まで「妙高西条農園たより」や、秋には昨年を引き続いて「稲刈り体験ツアー」等を企画し、当農園産のコシヒカリをPRしてまいります。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755
 妙高西条農園長 池田博子
 ☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908
 URL : <http://www.kanta.jp> E-mail : ikedata@kanta.jp